

第 29 回（平成 14 年 度）

岩 谷 直 治 記 念 賞 候 補 者 推 薦 要 項

1. 表彰の趣旨

岩谷直治記念賞は、わが国高圧ガス関係諸事業の普及発展に功のある岩谷直治氏の業績を記念し、資源およびエネルギーの広い関連分野でその学術的な研究、利用諸技術の開発などで優れた成果をあげた方を顕彰し、斯界の発展と国民生活の向上に寄与することを目的とします。

2. 表彰の対象・資格

(1) 貴学・協会または研究機関に係する下記諸項目に該当する研究、又は技術の開発でその成果が認められたもの。

(イ) 資源およびエネルギーの新しい資源化もしくは生産プロセスの合理化、及びその効果的な利用あるいは環境保全、災害防止等の問題の解決に関する研究または開発により、国民生活の向上と福祉に寄与しているもの

(ロ) 資源およびエネルギーに関する創造的あるいは独創的な研究開発により、顕著な業績をあげているもの

(ハ) 新素材、バイオテクノロジー、エレクトロニクス、超伝導、あるいは自然環境保護等に関連する分野の研究開発において、優れた独創的な業績をあげているもの

(2) 候補者は個人または研究グループとし、グループの場合はその代表者を候補者とさせていただきます。

(3) 候補者は必ずしも貴学・協会会員または研究機関所属員であることを要しません。

3. 岩谷直治記念賞の内容

原則として、毎年 2 件以内とし、1 件につき賞状、賞牌および副賞（賞金300万円）を贈呈します。

#### 4. 推薦方法

- (1) 推薦者……関連する学・協会または研究機関の代表者等の推薦によることとします。
- (2) 推薦書……所定の推薦書に必要事項を記載し、業績主題に関する資料1編×6部とともに、本財団宛一部提出願います。
- (3) 推薦件数……1推薦者につき2件以内でお願いします。
- (4) 推薦締切期日……平成14年8月31日（当日必着）

#### 5. 選考方法

下記委員からなる選考委員会により選考され、評議員会の承認を得て理事長が決定します。

#### 選 考 委 員

委員長	笛木和雄	(東京大学名誉教授)
副委員長	濱川圭弘	(立命館大学教授 大阪大学名誉教授)
委員	秋元肇	(地球フロンティア 研究システム領域長)
	明島高司	(山口東京理科大学学長 東京工業大学名誉教授)
	池上詢	(福井工業大学教授 京都大学名誉教授)
	齋藤泰和	(東京理科大学教授 東京大学名誉教授)
	藤森啓安	(脚電気磁気材料研究所理事 東北大学名誉教授)
	古崎新太郎	(崇城大学教授 東京大学名誉教授)
	三浦謹一郎	(㈱プロテイオス研究所取締役社長 東京大学名誉教授)
	森謙治	(東京大学名誉教授)
	岩井繁明	(財団常務理事・事務局長)

#### 6. 選考結果の通知

選考結果は平成14年11月下旬頃文書により通知します。

#### 7. 贈呈式

受賞者に対する贈呈式は、平成15年3月7日(金)に行う予定です。

(推薦書提出先・連絡先)

財団法人 岩谷直治記念財団

〒100 0014 東京都千代田区永田町2-10-2 TBRビル712

TEL 東京 (03)3580-2251

FAX 東京 (03)3580-2700

第 29 回 (平成 14 年度)  
岩谷直治記念賞候補者推薦書

受	付
月日	
No.	

平成 年 月 日

財団法人 岩谷直治記念財団 御中

1. 代表研究者 (開発者)

氏 <sup>ふりがな</sup> 名:

生年月日:

所属機関・職名:

所在地: 〒

TEL

(内線 )

住所(自宅): 〒

TEL

- -

2. 業績の主題

3. 代表研究者の略歴 (受賞暦を含む)

4. 共同研究者 (開発者)

氏 <sup>ふりがな</sup> 名

生年月日

所属機関・職名

(1)

(2)

(3)

(4)

5. 業績の概要（目的、意義および成果）

※なお、研究資料を1編×6部添付してください。

6. 推薦理由

7. 候補者についての特記事項（過去にあげられた業績など）

推薦者

学・協会  
研究機関

所在地 〒

(TEL

内線

会長  
代表者

㊦

上記のとおり岩谷直治記念賞の候補者を推薦します。